

## 白神乳酸菌、今度はペット商品に

弘前大学、健康食品の販売などを手掛ける「ラビプレ」（弘前市、三浦和英社長）が共同研究開発した「白神の森乳酸菌®L8株」が、ペット商品の販売などを行う「犬猫生活」（東京都）の犬猫用粉末サプリメント「皮膚ケアサプリー

皮膚の健康維持のために」に配合された。商品は9月17日に発売。同乳酸菌のペット商品への初展開に、三浦社長は「大切な家族であるペットの健康に役立ててくれることをうれしく思う」と喜ぶ。

（稲葉智絵）



ペットフードに振り掛けて  
摂取する「皮膚ケアサプリー」  
（犬猫生活提供）

# 犬猫用サプリー発売

## 肌の健康維持へ配合

都内企業  
開発 機能、研究も評価

同乳酸菌は、弘前大農学生命科学部の殿内曉夫教授が白神山地に自生する樹木「キハダ」からの分離に成功した新規乳酸菌で、同学部の前多隼人教授らが機能性などの研究を進めている。これまでに同乳酸菌入り食パンやリンゴジュース、乾麺（うどん）などが販売された。

超高齢社会の日本において、ペットも人と同じく高齢化・長寿化している。ペットフード協会の2025年「全国犬猫飼育実態調査」によると、犬と猫の平均寿命は年々伸びており、24年は犬14・90歳、猫15・92歳だった。

犬猫用のペットフード

皮膚ケアサプリーは今年1月ごろ開発に着手。肌の健康を維持するためのもので、腸内環境に着目し、配合する素材を探している中で、製造受託会社を通じて白神の森乳酸菌®L8株と出合った。同社によると、同乳酸菌が白神山地の自然植物由来の乳酸菌という希少性に加え、腸内環境改善

や免疫調節作用などの機能を有することから配合を決めたという。開発担当者は「特に、弘前大を中心に、健康効果に対する研究が積極的に進められていることが魅力的。（皮膚ケアサプリーは）ペットフードに振り掛けて摂取するタイプのサプリメントなので、無味無臭である点が最適だった」と語った。

国内外で急速に拡大しているペット用サプリメント市場。同社は「白神の森乳酸菌®L8株など良質な素材との出会いにより、ニーズが高い皮膚の健康や免疫機能の維持に着目した商品を作りたい」とした。

同乳酸菌が評価され、さまざまな形で広がっていることを喜ぶ三浦社長。「健康につながる研究成果の社会への還元、多岐にわたる商品展開を目指している。企業に対するアプローチとともに、白神山地から生まれた白神の森乳酸菌®L8株の魅力を津軽から発信していく」と力を込めた。

白神の森乳酸菌®L8株が配合された犬猫用サプリメント「皮膚ケアサプリー」（犬猫生活提供）

この画像は、当該ページに限って”陸奥新報”の記事利用を許諾したものです。  
転載ならびにページへのリンクは固くお断りします。